諮詢會記事
明治十四年九月
諮詢會記事
明治十四年九月
45

諮詢會記事

明治十四年九月

諮詢會取調掛

諮詢會員

三四ノ四二九

服部一三

穂積陳重

鳩山和夫

菊池大麓

矢田部良吉

伊藤圭介

十一 岩佐 巖
十二 山川健二郎
十七 平深盛三郎
十六 松井直吉
四 三宅 秀
一 橋本綱常
九 足立 寛

十 永松東海
十三 桐原真節
十四 樫村清徳
十五 田口和美
五 井山正一
二 ○中村正直
三 ○手島 毅

十二 島田重禮

二十二 村岡範為馳

十九 櫻井錠二

小嶋憲之

箕作佳吉

小中村清矩

木下廣次

九月二日

午前第十時ヨリ諮詢會ヲ開ク其議題ハ給費ノ件ニシテ外山正一氏ノ発スル所ナリ其言ニ曰ク給費ノ儀ハ從來一人ニ付四ケ年間ハ貸與ノ成規ニ有之処此度文學部教則改正相成候ニ就テハ今ノ四年生ニシテ更ニ三年級ニ下リ順次新課程ヲ履ムトナル者

ニ限リ特ニ今一年ノ俗費ヲ増シ從テ
五年分ヲ徴収致シタルモノニ會員之ヲ
可トシ或ハ之ヲ否トシ互ニ駁撃討論ノ末會
ヲ散ス時正午
廿日會員櫻部清徳、伊藤吉川、岩佐
嚴平、留盛三郎ノ諸氏事故アリテ會セ
ズ

九月十二日
一文學史ハ四年生ニシテ三年生ニ在ル新
課程ヲ履修セントスル者ニ俗費増額ノ義
ハ承諾ス可ラザル事ニ決スル旨被達（議事ハ決議録ニ記）
テミルベシ
一（追増）俗會ノ義ハ會員悉皆招集ノ上協議セシモ
會員多クハ教導ヲ受持ツ為メ忙ニ付十月

一試業規則改正ノ義審査ヲ終リ從理修正
出ス即日總理ヘ申呈ス擬節タリ
一村田範相願ノ宜キ旨授業諭達
九月十四日
午後一時學部長ヨリ新キ撰科規則
並ニ試業規則改正ノ件ヲ議ス而
シテ修正アリ左ノ如シ

撰科規則第十條ヲ第一條第五條ニ下
レ第二案トシ其第一二課目アルヲ二課目
以内タル等又試業規則但書中ノ
字ヲ持教員ノ外ニ於テ十字ヲ削
ル巨細ハ決議ニ就テ之ヲヘシ
此日總理ヨリ通達ニ總テ規則中ニ在
ルコトアルベキトキハ條々ハ一ロ諮詢協ニ

一補助ハ各學部長ニ検印ノ
上謄写ニテ問有之迄ハ検印簿ヲ見ル

九月廿八日

午後一時ヨリ部長會ヲ開キ審議會
規則ヲ議ス
一諮詢総會ニ付スヘキ議案圖書課ニ依頼シ作
検印ヲ預

九月廿九日

一豫備ハ出張ノ為今日図書課
用件ノ二條ヲ議セシ為メ招来
同三日諮詢総會ヲ開キ会期ヲ請フ
算ニ通シ開セテ議案ヲ送達ス

九月卅日

一本日午後一時ヨリ部長會ヲ開クヘキ

十月一日

一三宅服部ニ氏故障アリ出席セラレザルニ就キ休會

一図書課回章ノ件既ニ承諾ノ旨ヲ報セルニ付キ又其文ヲ謄写シテ諸部員ニ通ジ置ク

一理学部會議ニテ試業規則改正ノ件但書追加并ニ漢文学廃止ノ二件部長ノ報告アリ

十月二日　日曜日

十月三日

一理学部會議議案ヲ部員ニ送達シ明四日午後一時ヨリ開會スル旨ヲ報知シ置ク

午後一時ヨリ総會ヲ開キ議案ヲ...

代據ノ件先ツ図書課伺出ニ係ル件ヲ議
ス此前件ハ原案ノ通ニ決ス後件ハ
悉皆議決ノ運ニ至ラズ木曜日午
後一時ヨリ引續キ同件ヲ議スル旨ヲ
各會員ニ報ズ

十月四日

午後一時ヨリ理學部會ヲ開キ漢学

學上リノ件先ツ實驗ノ業ニ附スル旨ニ書
ノ件ヲ議ス其決スル所ハ別ニ議決書
ニ載ス

十月五日

午後一時ヨリ総會ヲ開キ図書課伺出
ノ件ヲ議ス決議ニ至ラズ仍テ修正
シテ規則ヲ再議スルコトナル

十月七日

一来ル月曜日総會ヲ開クコトニ相成リシヲ以テ〔?〕ルニ就キ其議案理書課[?]伺出ノ件 研究覧規則改正並旧藩政論ノ二件 及ヒ学生出版[?]学会[?]ニ件ハ一ト纏ニシテ諸會員ニ送達ス

十月十日

一午后一時ヨリ総會ヲ開キ七日諸會員ニ送達セシ議案中[?]議ス但旧藩政論ノ件ニ及ハス（次回議決[?]）

十月十二日

一午后一時ヨリ部長會ヲ開キ寄宿舎取締法施行ノ件ヲ議ス原案ノ通ニ決ス三宅秀氏病気ニ就キ會セズ

十月廿一日

一午後一時ヨリ部長會ヲ開キ寄宿舎病気
規則ノ儀ニ付キヲ議ス但手寄民病
第十八學會ヲ未ダ

十月廿六日

一午後一時ヨリ部長會ヲ開キ寄宿
舎病気規則ヲ議ス

十月廿八日

一小島憲之從會委理學部會
ノ會長ニ撰挙セラル
一来ル卅一日從會ヲ開キ寄宿舎
規則ヲ議スル旨ヲ委員會員ニ報シ及
セテ臨時議事ヲ送ル

十月卅一日

一午後一時ヨリ[illegible]從會ヲ開キ更

業料減免ノ制限、撰科規則追加
ノ二件ヲ議ス并テ寄宿舎規則ヲ
議セントスル時フアーユ陳玄氏ノ發言ニヨリ
生徒ヨリ舎中事情ヲ詳細ニ承知シタ
ル上ニテ議事ニ掛ルトノ説出テ遂ニ
各教員ヨリ其受持ノ生徒ニ尋問シ又
其言フ所ヲ參考シテ而メ後會議

ヲ開クニ決ス但シ次會ハ來ル日曜日
七日ト定ム此日欠席ノ會員ハ
無斷　鳩山和夫
〃　山川健次郎
都罷漢馳
故障ニ付　田口和美
〃　小島憲之

ゆ一支　橋本綱常　相架卓郎
岡田、中郡、三島、敷伊藤、平亞
諸氏ニ赤會セズ
右從テ三時後ヨリ部長會ヲ開キ畢
目編纂ノ事件ヲ議ス
十月八日
一年生一時ヨリ諮詢從會ヲ開キ

寄宿舎規則ヲ議ス改議ハ次
議規ニ雑テニル（し）此日欠席
三宅永松ノ外医学部ノ病員ニ
中村、三島、島田、小島、伊藤、服部
菊池ノ諸氏
此日寄宿舎規則ヲ議スル前医学
学部生徒ニシテ懲役ノ刑ニ処セラレタル

昔ニ卒業論文ヲ呈スベキヤ否ニ
就キ討論シ未ダ了ヘザルヲ[illegible]
決ス

十一月十四日

一年会ヲ明日従会ヲ開キ卒業論
文ニ関スル議案ヲ先ニ定メ置ク規則
ヲ議シ前條ハ原案ノ如ク決ス

大隈ノ相楽ヲ除キ右ハ医学部ノ会員
九鬼・伊藤・岩佐・中部・三島・田
小松ノ諸氏

十一月十四日

一年会臨時ニ従会ヲ開ク

十二月十六日

一試業点数ノ儀ニ就キ規則改正

業課程學習法ニ関ス、但書附シ其意

見アル向ハ廿二日迄ニ可申出旨達シ

アリ

十二月十七日（九）

一圖書器規則中十五條ハ十六年一月

ヨリ實施セシムルニ付其旨諸課程委員

ノ意見ヲ叙リシタ申越シタルニ付前

項ノ議案ハ右衛ハ一回ノ但書付シ此二

日迄ニ意見アル人々可申出旨相達

シ置タリ

十二月廿二日

右議案ニ意見アル人ヲ出ルモノ無シ

其ハ諸議員ヲ招キテ一ノ決議ヲ為シタルモノト
假定シテ謂ノ可否如何ヲ問出セシ者
タリ

十五年一月四日

右ノ議決ハ一回ノ決ヲ以テ可決セラレタルニ幹事ヨリ
之ヲ書記ニ達シテ置ケリ

一月十七日

議事規則ヲ議スルヲ以テ来ル廿
三日ヨリ会ヲ開ク旨ヲ会員ニ報知シ
併セテ議案ヲ送付ス
其作佳者並ニ会員部ニ分ケ会
員ニ撰バル

一月十六日

工学生入学退学規則改正追加共ニ及ヒ撰科規則改正
豫備門工学規則改正案無匠ノ議案ト
スヘキ擬案ヲ取ル

一月卅一日

右議案ヲ会員ニ配付ス、
器械貸付規則擬案脱

二月一日

午後一時ヨリ図書館規則ヲ議ス

二月三日

器械貸付規則并臨時会員 結局議案トシテ了
会員ニ配付ス 但シ会員ハ
議長、中沢岩太、西松二郎
野沢郁太、高松豊吉、信行定
外ニ春吉ト又

午后一時ヨリ総会ヲ開キ図書館規則ヲ議ス

二月六日

午后一時ヨリ総会ヲ開キ図書館規則ヲ議ス

二月八日

午后一時ヨリ総会ヲ開キ図書

館規則ヲ議ス

二月九日

同日工学生入学退学規則及ヒ附属工学生入学退学規則ヲ議ス

二月十日

新出議案ノ議決ヲ上申シテ認可ヲ

二月十三日

一学生学退学規則ニ付可否ノ

諮詢会議ヲ規則ノ可否ヲ伺

二月廿三日

諮詢会議ヲ規則認可アリ

二月廿七日

是ヨリ先キ書籍貸付規則匡

学部ヨリ取調掛先般此程相成ル

ニ付撿印ヲ取リ議案トナシ諮詢

会員ヘ廻与付ス　議定

蔵書閲覧規則認可ト成ル

三月一日

定会一昨ヨリ諮詢会ヲ開キ書籍貸付

規則ヲ議ス　臨時会員ハ二月三日

ノ條ニ記シタル數人ニ命ス医学部ヨリ
吉田豊　外補七人　大西秀春
小山順一郎　丹波敬之
玉越興平　松原新之助
片山國嘉

三月六日

器品貸付規則第七條ヨリ第十條

マテ議シ了ル

三月八日

午後一時ヨリ協會ヲ開キ器品貸
付規則ヲ議シ了ス

三月十日

一器品貸付規則ノ法議案ノ認可ヲ
伺フ

三月十七日

一 法理文学部入学生学退学規則改正ノ上追加案ヲ諸会員ニ廻付ス

三月

一 法理文学部入学生学退学規則改正ノ上追加案可案ニ決ス

三月廿二日

同上校規則第九条改正議案諸会員ニ廻付ス

三月廿四日

一 豫備門生徒懲戒之義ニ付掲示ヲ伺フ

一 寄宿舎規則文部省より一旦返却按文ハ一旦二月廿日付ヲ以諮詢会員ヘ廻達

スヘキ文案ヲ伺フ

二十九年

一同上修学規則第九条改正ノ認可ヲ伺フ

三十年九月

一寄宿舎規則改正ノ義ハ尚一応文部省ヨリ之ヲ開旨中来ル迄

ヲ認可相成候事ヘ通告ス

一同上修業規則第九条改正ノ義認可ヲ願ム

三月三十日

一学生規則ノ議決案認可ヲ相成ル修学年限削除ニ付リタル条文ヲ添当局ヘ通告ス

明十三年

一政治学及理財学ニ関スル講義ヲ諳誦翻訳シ英文ニ欲帰ス

〃十四

一同上但追加案ハ医学部ニ於ケル此段ハ八九年ノ頃ニ至医業ニ採用セラレタルモノニ学位ヲ授与スルノ

講義ヲ聴講筆記ニ至ヘ適常ス

〃廿四

一文学部政治学理財学科第二年生一課目ノ点数足ラサルヨリ落第ニタレトモ他ハ全ク優等ノ点数ヲ有リ遠カサルヨリ甚シク劣ルコトナレハ特殊ニ限リ特旨ニ変更ヲ以テ四人ヲ許

収セシムルノ請願書ヲ諸省ヘ
送付ス

五月十一日

法学生某、覚室書籍ヲ携帯シタルニ
就キ更ニ各ノ議決ハ当局ニ於テ知ラズ更
ニ検査書籍規則第三十條ニ準シ更ニ
スル旨協理被相達タルニ就キ会員ヘ
此旨ヲ以テ通知シ置ケリ

第廿六

從來學士ノ稱ハ卒業證書ト共ニ之ヲ與フルノ習慣ナリシモ此般更ニ其習慣ヲ改メ卒業生ニハ唯卒業證書ノミヲ與ヘ學士ノ稱ヲ與フルニハ別ニ試驗ノ方法ヲ設ル如何ノ議案ヲ議ス

五月廿三日

學位規則第八條及第十五條追加改正案ヲ諮問案ハ更ヘ送附ス

六月廿日　五月廿三日以後本日迄紀事ヲ欠ク

午前第十時諮問部會（理學ヲ講シ）ヲ開キ議ス

學位ノ件事ニ関スル五号ニ試験並

羽織ハセサン云々ノ項ヲ議シ中止要求ニ一同決ス

九月卅日

諮詢総会議案係ノ學生ニ関スル件并ニ撰科生ニ関スル件共総会ハ追付開キ意見アラバ三日正午迄ニ以書面可申出旨ヲ回達

十月二日

総会議案研究生ニ関シ當図書館

規則改正ノ件担当委員ヘ回付
意見アラハ九日迄ニ可申出旨達

十月三日
仮ノ学生及ヒ撰科生ニ関スル議案総
理ヨリ差出シ置
十月四日
右決議[illegible]可成ル

十月五日
書籍館規則改正案ノ決議ニ付
目橋仰両教授ヘ変部長中議論モ
為シ且医学部長ヨリモ当担匡所補ヒ候
ニ就キ意見書差出タルニ由リ右一応説
諮会議ニ付スヘキ上旨総理ヨリ達有
ルモ仍テ右ニ照会書ヲ医学部ニ

送ル

十月七日

医學部長ノ召書至ル此日総理無出勤

十月八日日曜日

十月九日

医學部長ノ召書ニ就キ総理ハ出ミ面タヾレ照会書（因學部長ニ）送リ出立

医ハ参考書五冊私借書五冊何々

補ハ参考書拾冊ヲ貸付シ留置キ

キハ[illegible]ヲ[illegible]

十月十一日

医學部召書来ル異存ナキ旨ヲ申届ニ就キ議案ヲ論ヘ伺ヲ十二日発

十月十二日

同日菊池ヨリ建議研究生ニ当主私借
ヲ許スノ件ハ如何成ルヤ否ヤヲ伺置
リ

十月廿八日

菊池建議採用不相成又書籍館規則
九條及ビ廿一條改正ノ件ハ原案ノ通リ
決定諮詢会ニ差出ス議ハ謀而不相成

十月卅日

右決議不謀而之係会員ハ遠慮

十一月十五日

法学部第一年課程改正之議案伺
書出之置ク（但法学部長同部会ニ諮詢）（第九ノ議案ニ）

十一月廿六日

右議案審査委員法学部会員ハ欽

付シ意見有之候ハヽ来ル廿日迄ニ以書面
申出可有之旨相達シ置ク

十一月廿二日

一法学部会ハ穂積、菊池、木下三氏集
テ右学課ノ事ヲ議シ其他ノ会員ハ何
レモ廿日迄ニ意見申出ル者ナキヲ以テ同
意ト見做シ

十一月廿九日

給費生規則改正ノ件ヲ評議会ノ議ニ附セ
ラルベキヤヲ伺ヒ且右会日ハ来月六日午后
一時ヨリト定メラルベキヤヲ伺ヒ置ク

十二月一日

一右伺認可相成リタルニヨリ議案ヲ謄写シ
諸会員ハ送付シ六日開会ナルベキ旨

一右案ハ審理究定員ヘ回付シ意見有
之者ハ廿日正会迄ニ申出可有之旨相達
シ置ク

十二月廿日

一正会迄ニ意見申出候者無之ヲ以テ右
議案ハ議可可決旨ヲ伺置ク

十六年三月十七日

給費規則第四條追加案後会ノ議ニ被
付可決之旨ヲ伺置ク

三月十七日

右案撫印済乃チ謄写シテ会員ニ頒チ
来ル廿日ヲ以テ開議可致旨ヲ報置ク

三月廿日

例到ヨリ会議ヲ開キ俗費規則追加案
ヲ議ス依テ議決認可可然旨ヲ伺置ク

四月十八日

図書館規則第廿九条但書改正並第
五十条但書ニ関スル議案本会ニ可決附
旨ヲ伺置ク

四月廿二日

右議案印刷即チ謄写シテ会員ニ頒チ審
見有之向ハ廿四日正午迄ニハ書面ヲ以申立
旨相達シ置ク

四月廿四日

右議案ニ関シ異見申出ル者無之ヨリテ原案
ニ通過認可可然旨ヲ伺置ク

六月十二日

給費規則第八條ノ改正ノ議案本会ノ議ニ付
セラルベキ訳ヲ伺置ク　其後議案ハ本会ニ出ス

六月十五日

右案ニ付研究委員ヘ願付ケ十八日迄ニ意見可
出旨ヲ達置ク

六月十八日

右案ノ決議總而ヲ伺置ク

九月廿四日
書籍館規則改
正案本会ノ議ニ
付セラルベキ訳ヲ
伺ヒ置ク

八月六日

別課法学科規則本会ノ議ニ付セラルベキ訳ヲ
伺フ

九月五日

右案ニ付キ本日迄ニ意見申出タル者無シヲ以
テ議決總而ヲ伺フ

九月廿七日

理學部第二年生課程改正案ヲ同部会ノ評議ニ付セラルベキ哉ヲ伺フ

九月廿九日

右案ハ委員ニ嘱付シ十月三日迄ニ意見可申出旨ヲ達シ置ク同日ニ至リ申出無シヲ以テ原案認可ヲ伺フ

寄宿舎幹理事務員設置案総会ノ評議ニ付セラルベキ哉伺ヒ置ク

十月四日

文學部政治學理財學科第三年課程ニ増加ノ案同部会ノ評議ニ付セラルベキ哉ヲ伺ヒ置ク

十月八日

寄宿舎規則改正案并寄宿舎幹理事務員設置案右ハ過般(?)同委員ヘ嘱付シ十一日午後一時ヨリ開会ノ旨ヲ報シ置ク

十月九日

文學部政治學理財學科課程増加ノ案ハ
同部會員ヘ頒付シ十二日正午迄ニ意見可申
出旨ヲ達シ置ク

〃十二日

午後一時ヨリ開會　総理ノ都合ニヨリ十一日ニ繰替タルヘ

（一）此日動植物教場備書ヲ場ニ安在ニ保存スル案取調委員
先ニ法學部ニモ備付置クノ一ニ就キ委員ヲ置クノ必要

政治學理財學第三年生課程増加案録ヲ回ス
同上置ク

〃十六日

例刻ヨリ総會ヲ開キ圖書館規則ヲ議決ス
又寄宿舎幹理議員設置案ヲ議決ス

〃十八日

設置案ノ認可ノ件ヲ伺上置ク

文學第三年生課程増加業ハ廢棄ニナリタリ

十二月廿日

海軍中機士権田正三郎ニ學位授與ニ付論
業ヲ添ヘ本省ニ付セラルヘキ都ヲ伺上置ク
一圖書館規則第八條但書臨ノ諸學科
添ヘ本省ニ付セラルヘキ都ヲ伺置ク

十二月廿一日

右二論業ノ摘印論郎ナ膳寫セシメ本省
員ニ眼付ニ廿四日午後一時ヨリ開会ノ旨ヲ報
置ク

十二月廿四日

午後一時ヨリ開会権田正三郎學位授與
ノ件及ビ圖書館規則改正ノ件ヲ議決ス

十二月廿五日

法理文学部教場及動植物実験場備付雑
書取調之儀委員ヨリ報告書ヲ出ス

廿七日

右報告ニヨリ書籍館規則改正案ヲ議
本会ニ付セラルヘキモノニ付之ヲ付置ク 又

図書館規則第九條ノ次及ヒ四十二條ノ次ニ二ケ
條追加案本会ノ議ニ付セラルヘキ旨ヲ附
置ク 即八日振仰浴即チ其旨ヲ追テ照会セシ
ム

十七年一月四日

右照会成ル即チ会員ニ配付且一月午
後会ヲ開キ右旨ヲ報告ス

〃八日
併合右ノ上議案ヲ議決ス
〃十一日
養生館規則改正増補案ノ議決ハ追而
何分可相決置ク　三月十一日ト付加成ル
一月十四日

豫備門本黌中學科卒業生ノ學
規則但書追加之儀本會ノ諮詢ヲ以
成部ヲ伺ヒ置ク
〃十九日
右議案十五ヶ條委員ハ既付之十八日二日ヲ迄
ヲ經テ意見書ヲ出スヘキ由ヲ當達
達ニ因テ之ヲ意見申出ル者ノ十五年ヲ以テ

至案ヲ通過シ可然歟ト云フニ付伺ヒ置ク

二月九日

豫備門分黌課程改正案ハ本会ノ
議ニ付セラルヘキ哉ト伺ヒ置ク
法學部撰科生別課ヘ轉學ノ議案
本会ノ議ニ付セラルヘキ哉ヲ伺ヒ置ク
〃〃

二月十三日

右二議案ニ就キ本会ヲ開クノ後案ハ
可決シ前案ハ決セザルヲ以テ十八日ニ延
会ス

〃十八日

本日午後開会ノ処何故カ実施中
止相成ル旨ノ事
但豫備門分黌課程改正
案ハ通過ニ決セズ猶少恐[illegible]

十意見書ハ内〻本日之会迄ニ申出ヘ
有之旨通達置ケリ意見書出
者無之故更ニ通リ修正成就
伺置ク

三月廿八日
予備門課程改正案 本会ノ議ニ付セラルヘキ
歟ヲ伺置

四月十日
本会ヲ開キ予備門課程改正案ヲ議ス又
工学試験方法取調委員ヲ置ク 当日臨時会ナレハナリ
委員 山川 大澤
木下 杉浦
神田 外山
河上 村岡

鈴木

四月廿八日
本会ヲ開キ豫備門課程改正案及ヒ委員
ノ報告ヲ議了ス

四月十五日
博物場規則改正案ノ認可ヲ伺置

〃 廿二日

豫備門課程改正案及ヒ入学試験方法ニ
就テ本会ノ議決ヲ認可ノ義ヲ伺置ク

〃 廿七日
法学部第四年ニ本年ニ限リ卒業論文
ヲ免スルノ議案ヲ伺

四月卅日

右議案ハ法學部會ニ於テ議決ヲ經タル旨
總理ヘ申達相成ル事ヲ伺置ク

五月十六日

法理文學部試業規則并給費規則及ヒ豫
備門本黌試業規則改正ノ儀本會ニ被付ハ手

部伺置ク

五月廿六日

撰科生正科ヘ轉入ノ儀并本會ニ而被付部
伺置ク

五月廿一日（右二十八日）

總會ヲ開キ前上議案ヲ議ス又此日豫備門教
員ヲ以テ臨時會員ニ加ヘ豫備門規則改正案

シモ議シタレハナリ

五月廿二日

試業規則給費規則豫備門規則及ヒ上正科撰出正科ノ轉下ニ[illegible]議ヲ伺置ク

六月廿日

四學部工學規則及ヒ豫備門規則照正之本部ニ而被付却伺置ク

六月二日

前件ニ就キ總會ヲ開ク四學部第七條及上豫備門十四條ノ文字ニ就キ議論紛出シテ決セサリシヲ以テ委員ヲ擬ミ文字ノ修正ヲ爲サシムルコトニ決ス

六月七日

採鑛學第三年生山田文太郎ノ第四年ノ昇

降ノ儀ニ就キ本官ヲ解キ先知降級セシムルコトニ決ス